



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和4年10月7日（金）No 22発行
文責：松本 卓也

「石工の郷 八代」の魅力を伝える Part2

～中学生ボランティアガイド発足式～

2日（日）、東陽定住センターにおいて、日本遺産「中学生ボランティアガイド」発足式が行われました。式には、橋本市議会議員様を始め、東陽駐在所、市教育委員会、市文化振興課から4名の方々に来賓としてご参列をいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。式では、東陽町町づくり協議会会長のあいさつ、来賓紹介の後、N協議会長様より、委嘱状の交付と受け取りを行いました。それを受けて、生徒会長のOさんが「東陽町の魅力を伝えるよう頑張ります。」との決意表明を行いました。日奈久上西町出身で、「八代よかこ大使」を務めているお笑いタレントのゴリけんさんもサプライズ登場し、会場を盛り上げてくれました。（写真撮影やプレガイドにも参加していただきました。）

プレガイドでは、定住センター旧重見橋、若宮神社のひねり灯籠、鍛冶屋下橋、石匠館、橋本勘五郎氏の生家の5カ所を、今まで調べてきたことをもとに一生懸命説明する姿が見られました。ただ、初めてということもあり、緊張で伝えたいことが言えなかったり、参加者の質問に慌てる姿も見られました。子どもたちからは、「もっと大きな声でガイドしたい。」「安全に案内できるよう、前列の先頭と最後に離れて歩きたい。」「歩くときも話ができるよう、名所だけでなく、東陽町の自然や食べ物等についても調べたい。」との反省が出されました。参加していただいた方々のアンケートには、「一生懸命さが伝わってきて、よかった。」「東陽町の歴史や石工に関する興味が増しました。」その他、「ガイドの前に、挨拶や自己紹介をしてほしい。」「説明が少し短い。地元に来ないとわからない話もしてほしい。」等、多くの感想やご意見をいただきました。

石工の里（東陽）の文化や魅力をもっともっと発信できるように、23日（日）「東陽しょうが祭」の日のガイドデビューに向け、さらに工夫・改善をしていきたいと思えます。保護者の皆様からも、温かい励ましのお言葉をよろしくお願いいたします。



ユニフォームを授与
をわかりやすく伝えら
れ、会場を盛り上げてくれました。



文化祭テーマ発表！ ～輝け！東陽の新時代～

4日（火）、生徒集会で文化祭テーマの発表がありました。今年度のテーマは、「No limit ～輝け！東陽の新時代～」です。『サブテーマの“輝け”には、一人一人が主役となり、文化祭という舞台で自分の力を発揮したい思いがあります。 “東陽の新時代”には、生まれ変わった東陽中生の姿を保護者の方々や地域の方々に魅せていきたいという思いがあります。記憶に残る感動的な文化祭にしていきたいです。』テーマに込められた想いを、副会長のSさんが力強く説明してくれました。運動会同様、子どもたちの主体的な取組を通して、大きく成長する機会にしたいと考えています。



苦手な教科を「わかる」、 「もっと楽しくなる」ために

先月、子どもたちを対象に行った学習アンケートをもとに、授業を進める先生と生徒に個別に対応する先生の2人で授業を進める「toyo ティーム・ティーチング」を特定の教科でスタートしました。個別対応の先生が、質問された内容をわかりやすく説明したり、問題を一緒に解いたり、子どもたちの状況に応じたきめ細かな支援を行っていきます。苦手な教科を「わかる」、「もっと楽しくなる」ために、授業改善を進めて参ります。ご家庭でも、基礎・基本の確認等、家庭で復習する機会（家庭学習の習慣化）を設けていただくようご協力をお願いします。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）